



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局 淀川河川事務所	配布日時	平成29年6月13日 14時00分
資料配布		

件名	想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等の公表 【淀川水系淀川・宇治川・木津川・桂川】 ～的確な避難行動につながる防災情報の周知～
----	--

概要	<p>国土交通省では、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組を進めているところです。</p> <p>減災の取組の一環として、市長及び町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表します。</p> <p><公表水系・河川> 淀川水系【淀川(宇治川を含む)、木津川、桂川】 ※これまでに、新宮川水系・紀の川水系・大和川水系・加古川水系・揖保川水系・円山川水系・由良川水系・北川水系・九頭竜川水系、淀川水系の一部で公表しています。 ※6月14日に木津川上流河川事務所で淀川水系木津川(上流区間)・服部川・名張川・宇陀川の洪水浸水想定区域等を公表します。 本件の取り扱いは、6月14日10時発表としますので、内容に関するお問合せにつきましても、発表以降にお願いします。</p>
----	---

取扱い	<p>発表日時:平成29年6月14日10時</p> <p>※6月14日10時00分より、近畿地方整備局河川部の会議室にて、記者説明をさせていただきます。</p>
-----	--

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者室、大阪府政記者クラブ、京都市政記者クラブ、宇治日刊記者クラブ、宇治日刊地方記者クラブ、城陽久世日刊記者クラブ、城陽日刊地方記者クラブ、長岡京市政記者室、八幡市政記者会、京田辺・綴喜記者会、大山崎町記者室、学研都市記者クラブ、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブ、吹田地方新聞協会、豊中記者クラブ、北摂記者クラブ、守口記者クラブ、枚方記者クラブ、東大阪市政記者クラブ、東大阪市政ローカル記者クラブ
------	--

問合せ先	<p><洪水浸水想定区域図等に関する全般について> 近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター センター長 由井 伸直(内線 3851) 水災害対策専門官 林 貴宏(内線 3852) TEL 06-6942-1141(代表) / TEL 06-6944-8853(直通)</p> <p><淀川・宇治川・木津川・桂川の洪水浸水想定区域図等について> 近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 白波瀬 卓哉(内線 206) 調査課長 森田 一彦(内線 351) TEL 072-843-2861(代表)</p>
------	--

洪水浸水想定区域等の公表について

平成 27 年の水防法改正を踏まえ、平成 14 年 6 月に公表した洪水浸水想定区域^{※1}を見直しました。

今回の公表では、想定最大規模洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域^{※2}も公表します。これらの情報により、市長及び町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取り組みが一層進むことが期待されます。

洪水浸水想定区域等は、浸水区域に含まれる市町に通知し、当該市町においては今後「早期の立退き避難が必要な区域」を示した洪水ハザードマップを作成することになります。

洪水浸水想定区域等をご覧になるには、6月14日10時より下表の縦覧箇所及びホームページで公表しますので、ご参照下さい。

※1 洪水浸水想定区域とは

水防法第 14 条第 1 項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。平成 27 年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を想定最大規模の降雨とし、全国の河川で見直しが行われています。

※2 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

縦覧箇所・ホームページ掲載箇所

淀川水系（淀川（宇治川を含む）、木津川、桂川）

【縦覧】近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター
近畿地方整備局 淀川河川事務所
近畿地方整備局 木津川上流河川事務所

【ホームページ】<http://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/index.php>
(淀川河川事務所ホームページ)

<記者説明のご案内>

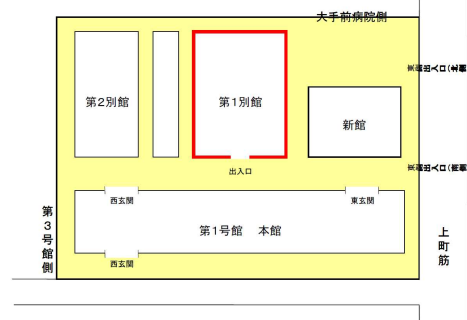
記者説明を以下のとおり行います。

○日時：平成 29 年 6 月 14 日

10時00分～11時00分

○場所：大阪合同庁舎第 1 号館

第 1 別館 3 階 304 会議室
(大阪市中央区大手前 1-5-44)



会場位置図

現行の浸水想定区域図との相違点

【参考】

○今回の洪水浸水想定区域図は、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）に基づき作成。

	現 行 (浸水想定区域)	今 回 (洪水浸水想定区域)
名 称 公 表 年 月 日	浸水想定区域 平成14年6月14日公表 (根拠:平成13年改正水防法)	洪水浸水想定区域 平成29年6月14日公表 (根拠:平成27年改正水防法)
想 定 外 力	昭和28年9月洪水の2日総雨量の2倍 (枚方上流域:500mm/2日)	想定し得る最大規模の降雨 (枚方上流域:360mm/24時間)
氾濫シミュレーション メッシュサイズ	250m×250m	25m×25m
地 盤 高	1/2,500地形図の等高線や標高点 から設定	航空レーザ測量(平成25年取得)データ から設定
支 川	満水状態(連続盛土扱い)	一部の中小河川については、氾濫水の排水 を考慮
樋門・排水機場	操作考慮せず	操作考慮(施設状況に応じて排水停止)

洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

【参考】

